

会員の2022年度中間決算概況について

2022年12月21日
日本証券業協会

1. 会員（265社）の中間決算概況※

会員の2022年度中間決算概況は以下のとおりである。

- (1) 営業収益は1兆9,860億円（前期比110億円増、同1%増）であった。
 - ① 受入手数料は、委託手数料が2,483億円（同491億円減、同17%減）、引受・売出し手数料が429億円（同519億円減、同55%減）、募集・売出しの取扱手数料が840億円（同577億円減、同41%減）と前期を下回った。その他の受入手数料は7,275億円（同550億円増、同8%増）と前期を上回った。全体として1兆1,030億円（同1,038億円減、同9%減）と前期より減少した。
 - ② トレーディング損益は4,540億円（同33億円増、同1%増）と前期を上回った。
 - ③ 金融収益は、4,033億円（同939億円増、同30%増）と前期を上回った。
- (2) 営業収益から金融費用2,416億円（前期比1,084億円増、同81%増）を差し引いた純営業収益は1兆7,443億円（同973億円減、同5%減）と前期を下回った。
- (3) 販売費・一般管理費は、取引関係費が4,266億円（前期比520億円増、同14%増）と前期を上回り、人件費が5,075億円（同353億円減、同7%減）と前期を下回った。全体として1兆5,075億円（同449億円増、同3%増）となった。
- (4) 以上のことから、営業損益は2,368億円（前期比1,422億円減、同38%減）、当期純損益は1,838億円（同1,199億円減、同39%減）となった。

※ 2022年9月末現在の会員273社のうち、廃業した会社など8社を除く265社の合算ベース。
決算数値の集計は、2022年4月1日から2023年3月31日までの間に決算日を迎える会員を対象としている。

2. 各社の当期損益の状況

決算状況から、全 265 社を当期純損益で利益計上した会社（黒字会社）と損失計上した会社（赤字会社）に区分してみると、170 社が黒字会社（前期比 28 社減）で、全体の約 64%を占めている。

2022 年度中間期の状況

		黒字会社		赤字会社	
		社数	割合	社数	割合
全国	265 社のうち	170 社	64%	95 社	36%
国内法人	256 社のうち	162 社	63%	94 社	37%
本庁監理会社	71 社のうち	54 社	76%	17 社	24%
財務局監理会社	185 社のうち	108 社	58%	77 社	42%
外国法人	9 社のうち	8 社	89%	1 社	11%

(注)「割合」は、各区分の会社数に占める割合。

【参考】

2021 年度中間期の状況

		黒字会社		赤字会社	
		社数	割合	社数	割合
全国	263 社のうち	198 社	75%	65 社	25%
国内法人	253 社のうち	190 社	75%	63 社	25%
本庁監理会社	69 社のうち	55 社	80%	14 社	20%
財務局監理会社	184 社のうち	135 社	73%	49 社	27%
外国法人	10 社のうち	8 社	80%	2 社	20%

(注)「割合」は、各区分の会社数に占める割合。

以 上